

「日本映画海外展開強化事業」 オンライン実践研修

【募集要項】

2020年8月14日

文化庁委託事業「日本映画海外展開強化事業」事務局
特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)

文化庁委託事業「日本映画海外展開強化事業」では、欧米の映画先進国において日本映画の上映を実施する他、国際的で多様なワークショップ等人材交流機会の提供によって、新たな創造活動の機会創出及び促進、映画人材の増強、ひいては日本映画の魅力向上、多様性の強化を実現することとしています。令和2年度本事業では、米国ニューヨークでの上映会及びワークショップ等の人材交流イベントの開催を予定しておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み、ワークショップ等については、ニューヨークの映画関係者を講師に迎えたオンライン形式の実践研修を実施することといたしました。

つきましては、本事業事務局を務める特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)において、本研修に参加する若手映画・映像制作者を広く募集いたします。

■研修の内容

本研修では、多様な視点からなるカリキュラムを組み合わせた下記の研修プログラムをオンラインにて実施する予定です。

① 企画書・脚本フィードバック指導:

米国で実績のある現地スクリプトドクター、映画プロデューサーや映画祭プログラマー等、各分野のエキスパートによる企画書・脚本の集中的な個別指導を実施し、企画・脚本力を高める実践的な内容。

② テーマ別講義:

米国の映画監督、映画プロデューサー、映画祭プログラマー、配給会社セールススタッフおよび米国で活躍する日本人映画関係者等を講師としたテーマ別の講義内容。

※ 本研修は原則としてすべて英語で実施されますが、通訳も事務局にてご用意する予定です。

■研修講師

Frederic Boyer 氏

<経歴>

2009年よりレザルク・ヨーロッパ映画祭、2012年よりトライベッカ映画祭のアーティストディレクターを務める。カンヌ国際映画祭監督週間部門では代表として2年間、作品選定員として6年間務め、現在はパリとニューヨークを拠点に活動している。2020年7月よりアイスランドのレイキャヴィーク国

際映画祭(開催日:9月24日～10月4日)のプログラミングヘッドを務めることが決定した。

Mollye Asher氏(プロデューサー)、Josef Kubota Wladyka氏(監督)にも講師として参加していただくことが決定しています。その他の講師は決まり次第、VIPO ホームページにて発表いたします。

■実施期間

2021年1月下旬から3月上旬の間で、計14日間程度の実施予定

※ 詳細日程は、後日発表いたします。

■実施場所

オンライン(各自でオンライン研修会場にアクセスしていただく予定)

■参加費

無料

■応募資格

本研修に応募するためには、応募者は次の①～③の要件を満たすこと。

- ① 日本国籍または日本の永住資格を有すること
- ② 長編映画(60分以上)の監督経験が3本以内であること
- ③ 下記いずれかの要件に該当すること
 - (ア) 過去に劇場公開映画の監督作品がある
 - (イ) 主要国際映画祭の公式部門への出品経験がある(長編・短編いずれも可)
 - (ウ) その他の映像作品(CF、ドラマ、MV、PV)の監督経験がある

■応募手続き

(1)募集期間

募集開始日:2020年8月14日(金)

募集締切日:2020年10月20日(火)

(2)応募書類

以下の応募書類を日本語で作成してください。

- ① 参加申込書(様式①)
- ② 履歴書(様式②)
- ③ 経歴書(様式③)
- ④ 作品企画書1・2(様式④):企画意図、あらすじ・シンプシス、資金調達企画など
- ⑤ 参加志望理由書(様式⑤)
- ⑥ 脚本(ロングプロット)
- ⑦ これまでに監督した映像作品

※ 上記応募書類①～⑦はすべて必須です。

※ 応募書類⑦の映像作品は、以下のいずれかの方法にてご提出ください。

(動画ファイル形式は MP4 または MOV にてご準備ください)

・動画共有サービスにて映像を【限定公開】でアップロードし、該当 URL を応募書類へ記載

(2020 年 11 月末日まで視聴できるように設定してください)

・データ転送サービスを利用し、該当 URL を応募書類へ記載

(データ保管期間は 7 日間以上に設定してください)

なお、郵送での応募はお受けできません。

<注意事項>

応募書類⑥脚本(ロングプロット)については、次の要件を満たすこと。

① 非公開のオリジナル長編映画の脚本(ロングプロット)であること

② 海外の主要映画祭・国際映画市場を見据えた、実写長編映画企画であること(ジャンル不問)

※ 応募時にはロングプロットの提出も可能としますが、研修参加が決定した際には脚本を速やかにご提出ください。2 次面接審査の際に、脚本の進捗状況を確認し、審査に考慮します。

※ 研修参加者に決定した際には、脚本を英訳する必要があります。ご自身で英訳することが難しい場合、事務局負担にて翻訳業者に発注することも可能です。

(3)応募方法

募集期間内に応募書類を PDF データに変換して、下記の「日本映画海外展開強化事業」事務局のメールアドレスへ、「件名:日本映画海外展開強化事業 実践研修応募書類」と入力してお送りください。

※ 「日本映画海外展開強化事業」事務局メールアドレス:aca_cinema_project@vipo.or.jp

※ 応募受付を完了した応募者には、事務局よりメールにてご返事いたします。

(メール連絡がない場合は、事務局へお問い合わせください)

※ 提出内容に不備がある場合には、受理することができませんのでご注意ください。

■審査方法

(1)1 次書類審査

事務局で組成した審査会による厳正な書類審査を行い、2 次面接審査に進む応募者を選定します。全応募者には 2020 年 11 月中旬までに合否結果をお知らせいたします。

※ 審査基準・審査結果に関するお問い合わせには一切応じることはできません。

(2)2 次面接審査

書類審査で選定された応募者には、2020 年 11 月下旬に選考委員会による面接審査を行います。合否結果は、12 月中旬までにお知らせいたします。研修参加決定者の氏名は、VIPO のホームページ等にて発表いたします。

※ 審査基準・審査結果に関するお問い合わせには一切応じることはできません。

※ 面接形式の詳細(オンライン/実地等)は後日ご連絡いたします。

※ 実地で行われる場合の交通費等は応募者ご本人の負担となりますのでご了承ください。

■ 応募にあたっての注意事項

以下内容に同意の上で、ご応募ください。

- ① 2021年1月下旬から3月上旬の間で計14日間程度、本研修に参加できること
- ② 研修期間中は実践研修に専念し、事務局の指示に従って脚本指導・レクチャー・ディスカッション等に積極的に参加し、(必要であれば)事前準備も行うこと
- ③ 事務局が負担する費用以外は自己負担すること
- ④ 研修参加者に決定した際、参加者の氏名等がVIPOのホームページ等で公表されること
- ⑤ 研修期間中に活動レポートを作成し、研修終了後にアンケートに回答すること

■ 今後のスケジュール

企画募集開始 2020年8月14日(金)

企画募集締切 2020年10月20日(火)

1次書類審査可否発表 2020年11月中旬

2次面接審査 2020年11月下旬

研修参加者決定 2020年12月中旬

実践研修 2021年1月下旬から3月上旬の間で、計14日間程度

* 詳細は後日 VIPO ホームページにて発表いたします。

本募集要項に同意いただいた上で、応募書類をPDFデータにてメールでご提出ください。

[お問い合わせ・応募先]
特定非営利活動法人 映像産業振興機構(VIPO)内
「日本映画海外展開強化事業」事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 2F
E-mail:aca_cinema_project@vipo.or.jp

※ お問い合わせは、件名に「日本映画海外展開強化事業」とご明記の上、お願い申し上げます。

※ 「日本映画海外展開強化事業」事務局におきましては、リモートワークを基本とした時差出勤との併用により、感染防止対策を行いながら業務を進めることを基本としております。お問い合わせはメールにてお願い申し上げます。